

# 消防団たずね歩き

## コロナ禍における消防団活動

神戸市兵庫消防団第四分団は、兵庫区内の中心部を管轄しています。

第四分団では保育園児を対象とした防災教室を毎年開催しております。しかし新型コロナウイルスの影響で、前年は消防団活動も制限があり防災教室を開催することができませんでした。

防災教室の開催は難しくても、子どもたちに対し、何かできることはないか？と、自分たちにできることを模索し、今年は防災教室の代わりにはありませんが「防災動画」を制作することにしました。

新型コロナウイルスの影響下で人が集まらない状況で頭をひねり、少人数・短時間を条件に撮影を開始しました。

しかし、いざ動画制作が始めてみると、少人数・短時間の制約で作業は思うように進まず、猛暑下での着ぐるみを装着しての撮影は、想像以上に体力を消耗する作業でした。

なお、着ぐるみを装着する役は分団長である私が勤めさせていただきましたが、着ぐるみ内の暑さは、防火着装での消防訓練に勝るとも劣らない過酷さでしたが安全管理に留意して撮影を行い、非常に良い経験になりました。

ちなみに着ぐるみは「ウーカン」「ピーポー」「ウータン」の3体を神戸市消防局からお借りすることができたのですが、この中で消防団のイメージキャラクターである「ウータン」を起用して進行する構成になっております。

未経験の動画制作に苦心する日々が続き、正直、一時はどうなる事かと思いましたが、撮影した動画に若手のアフレコを入れることで、どうにか形にすることができました。「防災」について我々が園児に伝えたい内容が、ぎゅっと詰まった動画になっております。

この原稿を書いている今も新型コロナウイルスは猛威をふるい、防災教室のようなイベントを開催できない状況が続いております。しかし、こんな状況下だからこそ生まれたこの動画が、少しでも未来を担う子供たちの役に立ってくれたら、と思います。



(兵庫消防団第四分団 分団長 安藤 猛)